

令和8年度 小平市立上水中学校 学校評価計画表										
学校教育目標										
○自ら考え、進んで実行する人 ○心豊かで思いやりのある人 ○心身ともにたくましい人										
目指す学校像(ビジョン)										
【目指す学校像】		・生徒が毎日楽しく通えて、自分の力を伸ばすことのできる学校 ・教職員が働く喜びと誇りをもてる学校 ・保護者が安心・信頼をもって子どもを通わせることのできる学校 ・学校にかかわる人たちの期待に応えられる学校								
【目指す児童・生徒像】		・問題解決や自己表現、他者への共感等の力をもった生徒 ・よりよい人生や社会の実現に向けて、他者を理解し、協働する力をもった生徒、・基本的な生活習慣が身に付いた、心身共に健康な生徒 ・困難や逆境に出会っても折れない心のしなやかさや回復する心の強さをもった生徒								
【目指す教師像】		・よりよい教育活動について考え、行動できる教職員 ・生徒一人一人をいつくしみ、それぞれの良さを認め伸ばす教職員 ・教職員同士、地域・保護者とも力を合わせて教育活動に取り組み、成果を上げることができる教職員 ・成熟した社会人として生徒の範となり、教育公務員としての自覚をもった行動が常にできる教職員								
前年度までの学校経営上の成果と課題										
・デジタルの積極的な活用や協働的な学習の機会の増加等の授業改善が進み、生徒の主体的な学習への取組についての改善の傾向が見られる。 ・不登校傾向の生徒への支援の方策の多様化が進み、様々な支援を行うことができた。 ・地域、保護者とも連携した読書推進の取組が進み、生徒の読書量の増加が見られた。										
中期経営目標			短期経営目標		具体的方策		努力目標(評価基準)		成果目標(評価基準)	
学力向上	「予測困難な時代」を生き抜くために必要な学力を身に付けさせる	自ら考える生徒の育成を進める	生徒が自ら課題を立て、解決を図る学習を各教科で計画・実施する。	4	授業の中で探究的な学習を実施する教員 100%	4	各教科の「主体的に学習の取組む態度」の評価 A評価の割合 70%以上			
				3	授業の中で探究的な学習を実施する教員 80%以上	3	同 60%以上			
				2	授業の中で探究的な学習を実施する教員 70%以上	2	同 50%以上			
				1	授業の中で探究的な学習を実施する教員 70%未満	1	同 50%未満			
		個別最適な学びに向けた支援の充実を図る	生徒の進度を適切に把握し、必要な支援を提供する。	4	全生徒との面談による学習支援の実施 3回以上	4	生徒アンケート「勉強がわからない」 10%未満			
				3	全生徒との面談による学習支援の実施 2回	3	生徒アンケート「勉強がわからない」 10～15%			
(いじめ・不登校)健全育成	生徒の心身の安全が確保されるような体制づくり	いじめの未然防止、早期発見、早期対応を徹底する	いじめ調査を確実に実施し、結果の校内での共有、対策の実施を徹底する。	2	全生徒との面談による学習支援の実施 1回	2	生徒アンケート「勉強がわからない」 16～20%			
				1	面談による学習支援の未実施あり	1	生徒アンケート「勉強がわからない」 20%以上			
				4	いじめ調査実施 年10回以上	4	認知後、一週間以内に解決しない事案0件			
				3	いじめ調査実施 年9回	3	認知後、二週間以内に解決しない事案0件			
		不登校傾向の生徒への対応の充実を図り、学校復帰を支援する	生徒情報の共有を図り、適切な支援につなげられる体制を運用する。	2	いじめ調査実施 年8回	2	認知後、一か月以内に解決しない事案0件			
				1	いじめ調査実施 年8回以下	1	未解決いじめ事案 1件以上			
				4	必要な支援につなげられた不登校生徒 100%	4	不登校等の状況の改善が見られる事案 5件以上			
				3	必要な支援につなげられた不登校生徒 90%	3	不登校等の状況の改善が見られる事案 3件以上			
				2	必要な支援につなげられた不登校生徒 80%	2	不登校等の状況の改善が見られる事案 1件以上			
				1	必要な支援につなげられた不登校生徒 70%	1	不登校等の状況の改善が見られる事案 なし			
業務改善・働き方改革	業務改善・働き方改革を進め、教員の心身の状況の安定を図る	業務改善への工夫を進める。	デジタルの活用を進めると共に、会議等の精選を進める。	4	業務改善事例を募り共有。 5件以上	4	時間外勤務、月間50時間の者 0			
				3	業務改善事例を募り共有。 3件以上	3	時間外勤務、月間50時間の者 1			
				2	業務改善事例を募り共有。 1件以上	2	時間外勤務、月間50時間の者 2			
				1	業務改善事例を募り共有。 事例なし。	1	時間外勤務、月間50時間の者 3			
		教職員の心身の健康の確保を図る	教員の時間外勤務を縮減を進める。	4	勤務時間縮減に係る研修、働きかけ 年間5回以上	4	時間外勤務、月間50時間の者 0			
				3	勤務時間縮減に係る研修、働きかけ 年間3回以上	3	時間外勤務、月間50時間の者 1			
				2	勤務時間縮減に係る研修、働きかけ 年間1回以上	2	時間外勤務、月間50時間の者 2			
				1	勤務時間縮減に係る研修、働きかけ 実施なし	1	時間外勤務、月間50時間の者 3			
特色ある教育活動	読書指導を推進し、生涯にわたる読書習慣を身に付けさせる	生徒の読書量の増加を進める	読書推進を校風として定着できるよう、保護者・地域とも連携しながら様々な取り組みを進める。	4	読書量増加に向けた具体的な取組 15件以上	4	生徒一人当たりの年間平均読書冊数 30冊以上			
				3	読書量増加に向けた具体的な取組 10件以上	3	生徒一人当たりの年間平均読書冊数 20～29冊			
				2	読書量増加に向けた具体的な取組 5件以上	2	生徒一人当たりの年間平均読書冊数 10～199冊			
				1	読書量増加に向けた具体的な取組 5件未満	1	生徒一人当たりの年間平均読書冊数 10冊未満			
		学校図書館の積極的な活用を進める	教科の学習における学校図書館の活用を進め、生徒の情報活用能力の向上を図る	4	図書を活用した授業事例 20事例以上	4	「図書の活用により学力が伸びた」 自己評価80%以上			
				3	図書を活用した授業事例 15事例以上	3	「図書の活用により学力が伸びた」 自己評価70%以上			
				2	図書を活用した授業事例 10事例以上	2	「図書の活用により学力が伸びた」 自己評価60%以上			
				1	図書を活用した授業事例 10事例以下	1	「図書の活用により学力が伸びた」 自己評価60%以下			